教育研究データ 1. 氏名 尾崎 英司 2. 生年月 1962年8月 3. 取得学位 工学修士,博士(薬学) 4. 教育業績 教育上の能力に関する事項 年月 概要 (1)教育内容・方法の工夫 2019年3月 ① 各専門科目の単元ごとに○×チェック問題を作成し、学生に回答させることによる双方向性の確保に努めている。② 学生実験の一部に環境計量調査の内容を取り込み、より実践的な授業に努めている。				
2. 生年月 1962年8月 3. 取得学位 工学修士,博士(薬学) 4. 教育業績 毎月 被要 (1)教育内容・方法の工夫 2019年3月 ① 各専門科目の単元ごとに○×チェック問題を作成し、学生に回答させることによる双方向性の確保に努めている。② 学生実験の一部に環境計量調査の内容				
3. 取得学位 工学修士,博士(薬学) 4. 教育業績 教育上の能力に関する事項 年月 概要 (1)教育内容・方法の工夫 2019年3月 ① 各専門科目の単元ごとに○×チェック問題を作成し、学生に回答させることによる双方向性の確保に努めている。 による双方向性の確保に努めている。 ② 学生実験の一部に環境計量調査の内容 ② 学生実験の一部に環境計量調査の内容				
4. 教育業績 毎月 概要 (1)教育内容・方法の工夫 2019年3月 ① 各専門科目の単元ごとに○×チェック問題を作成し、学生に回答させることによる双方向性の確保に努めている。 ② 学生実験の一部に環境計量調査の内容				
教育上の能力に関する事項年月概要(1)教育内容・方法の工夫2019年3月① 各専門科目の単元ごとに○×チェック問題を作成し、学生に回答させることによる双方向性の確保に努めている。② 学生実験の一部に環境計量調査の内容				
(1)教育内容・方法の工夫 2019年3月 ① 各専門科目の単元ごとに〇×チェック 問題を作成し、学生に回答させること による双方向性の確保に努めている。 ② 学生実験の一部に環境計量調査の内容				
問題を作成し、学生に回答させることによる双方向性の確保に努めている。 ② 学生実験の一部に環境計量調査の内容				
による双方向性の確保に努めている。 ② 学生実験の一部に環境計量調査の内容				
② 学生実験の一部に環境計量調査の内容				
を取り込み、より実践的な授業に努め				
ている。				
(2) 教育方法・教育実践に関す 特になし				
る発表,講演等				
5. 研究業績				
(1) 著書 単著 ※ ※ 「 2				
X				
の別				
①				
(2) 学術論文 単著 ※行の 押券(収入) トズギ(日 五				
発行の				
の別				
① Cloning and Expression of Biosci. Biotech. Biochem., 580				
Pseudomonas putida Esterase Gene 1745-1746, 1994.				
in <i>Escherichia coli</i> and its Use in 共著 1994年				
Enzymatic Production of D-8-				
Acetylthioisobutyric Acid				
②Nucleotide Sequence of the Gene Biosci. Biotech. Biochem., 590				
for a Thermostable Esterase from 共著 1995年 1204-1207, 1995.				
Pseudomonas putidaMR-2068				
③Purification and Characterization J. Ferment. Bioeng., 83, 535-53				
of Recombinant Esterase of 1997.				
Pseudomonas putidaMR-2068 and 共著 1997年				
Application to Optical Resolution of				
Dimethyl Methylsuccinate				
④ Esterase Catalyzed Regio and 共著 1997年 Chem. Lett., 741-742, 1997.				

Enantio-selective Hydrolysis of				
Substituted Carboxylates				
⑤酵素による不斉加水分解反応を利			有機合成化学協会誌,55(7),	
用した光学活性カルボン酸の合成と	共著	1997年	642-650, 1997.	
その応用				
⑥「私は健康?」~人間ドック基準値	単著	2014年	広島文教食物栄養研究会誌,第32	
変更について		11 月	号, 35-36, 2014	
⑦食品表示はどう変わる?	単著	2017年	広島文教食物栄養研究会誌,第35	
	平有	11 月	号, 33-35, 2017	
(3) 研究・作品発表	発表の年月		発表学会等	
①酵素法による D-β-アセチルチオリ酪酸の	1995 年		社団法人 日本化学工業協会	
開発			第 10 回 技術奨励賞受賞	
②光学活性アミノアルコールの製造	2011年		特許 4728548	
方法				
(4) 所属学会				
① 日本公衆衛生学会				
② 日本食品衛生学会				
3				
4				
(5)				